

船舶事故等調査報告書

平成22年4月22日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第166号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年11月25日 06時00ごろ	
発生場所	山口県萩市見島北西方沖 見島北灯台から真方位315° 32.9海里付近 (概位 北緯35° 11.4′ 東経130° 40.0′)	
事故等調査の経過	平成21年11月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 <sup>りょうほう</sup> 良宝丸、12トン YG2-7866（漁船登録番号）、個人所有 B 漁船 <sup>こうせい</sup> 幸成丸、8.05トン YG2-6913（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 B 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	A 左舷中央部小破口 B 船首部凹損	
事故等の経過	A船は、船長ほか2人が乗り組み、法定灯火を表示して、船首を南西方に向けて停留して操業準備中、B船は、船長1人が乗り組み、法定灯火を表示して、約10ノットの速力で手動操舵により北西進中、平成21年11月25日06時00分ごろ、見島北西方沖において、A船左舷中央部とB船船首部とが衝突した。 その後、A船及びB船は、山口県仙崎港に入港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視程 2海里以上 海象：うねり なし、波浪 穏やか	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、見島北西方沖において停留中、船長Aが、自船が停留していたことから、他船が避航してくれるものと思込み、甲板員2人とともに船尾甲板で下を向いて釣りの準備を行っていて、B船に気付かなかった可能性があると考えられる。 B船は、北西進中、船長Bが、周囲を見ずに漁のことを考えていて、A船に気付かなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、見島北西方沖において、A船が停留中、B船が北西進中、A船が釣りの準備を行っていてB船に気付かず、また、B船が周囲を見ずに漁のことを考えていてA船に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	

